

第14回『スポーツウエルネス吹矢山形県大会』

団体戦実施要領

◎確認事項

- 1、競技は、（一社）日本スポーツウエルネス吹矢協会の競技規則に基づいて行う。
- 2、ラウンドにおける競技進行は「吹矢タイマー」を使用し行う。
「用意」「始め」の合図で開始し、「30秒前」「終了」とコールする。
撥ね矢があった場合は、「3分経過」の後、「撥ね矢があります。しばらくお待ち下さい」とコールし、吹き直し後「終了」とコールする。
- 3、審判は、「審判長」「ゾーン審判員」「レーン審判員」で構成し、審判長は競技全般を掌握する外ラウンド毎に開始から終了の合図までの流れを確認し、統括する。
ゾーン審判員はレーン審判員の合図を確認し、その状況を審判長に伝達する。
レーン審判員は担当レーンの進行を確認し、撥ね矢がある場合は合図をしてゾーン審判員に伝達する。
尚、レーン審判員は各レーン次の競技者が行う。

◎競技

- ・競技距離は全員8m、1人6ラウンドとし、3ラウンド終了後、次の選手と交代する。
- ・本部会員を原則とし、1チームを5人～7人とする。
- ・得点は上位5人の合計点とし、5人の合計点で順位を決定する。
- ・同点の場合は上位5人の満点の回数が多いチームを上位とする。
- ・満点が同数の場合は33点の多いチームを上位とし、それでも決まらない場合は31点の多いチーム・・・と繰り下げて上位を決定する。
- ・メンバーの変更は、大会1週間前までに事務局へ報告する。
- ・当日欠席者が発生し、5人に満たないチームは、残りのメンバーの合計得点のみとし順位を付けないものとする。
- ・チームが5人に満たない場合は事務局にて混成チームを編成する。
- ・障がい者は、130cmの的の高さを選択できる。
- ・第1ラウンドは7本吹いて、上位5本を採点する。従って、試矢と撥ね矢の吹き直しはありません。

◎審判・採点

- ・ラウンド毎、奇数的、偶数的の競技者同士が採点を行う。但し、レーンの設定に当たっては、同一支部（愛好会）の競技者が採点することのないように配慮する。
- ・採点表は偶数的の競技者が記入し、3ラウンド終了後、奇数的の競技者が集計所に持参する。
- ・採点に当たって疑義が生じた場合は、ゾーン審判員又は審判長が判断する。
- ・レーン審判員は撥ね矢の有無を確認し、撥ね矢がある場合は挙手し知らせる。

◎表彰

- ・優勝、準優勝、3位までとする。

◎オープン競技

- ・競技距離は全員8mとする。
- ・『ビンゴ』・・・ビンゴシールの的を使用し、3本の矢で9個の的のどれかを射抜き、射抜いた的が縦、横、斜めに直線に揃った場合を「ビンゴ」とする。
- ・『7・5・3・1』・・・4本の矢を吹き7、5、3、1の得点ゾーンを射抜くものとする。

以上